

# 「最新の注目トピックスをじっくり学ぶチャンスです！！」

第58回秋期ゴム技術講習会

## 「未来を担うゴム・エラストマー技術」

主催 一般社団法人日本ゴム協会関東支部  
 協賛 高分子学会・自動車技術会・繊維学会・日本接着学会・日本トライボロジー学会・日本表面科学会・  
 (予定) プラスチック成形加工学会

本年度の秋期ゴム技術講習会では、「未来を担うゴム・エラストマー技術」をテーマに、学協会、産業界において注目されるゴム・エラストマーの関連技術から素材、物性、計測、応用にわたる8つのトピックについて、ご講演いただきます。研究・開発に役立つ内容、また今後、発展が期待される内容ですので、この機会にご聴講いただき、業務に活かしていただければと思います。

日時 2017年11月1日(水)・2日(木) 10:30～16:40  
 会場 東京電業会館 地下ホール(東京都港区元赤坂1-7-8 TEL.03-3403-5181)  
 定員 70名(参加ご希望の方はお早めにお申し込みください)  
 受講料 会員・協賛団体会員 32,400円、学生会員 無料、会員外48,600円(含消費税)  
 一度ご納入いただきました受講料は返金いたしかねますのでご了承ください。賛助会員は2名まで会員扱いです。  
 申込方法 HP(<http://www.srij.or.jp>)からのお申込みができます。また、下記申込書に所定事項を明記のうえ、  
 10月25日(水)までに下記までお申し込みください。受講票は10月中旬に担当者あてにお送りいたします。  
 送金方法 銀行振込(三井住友銀行日比谷支店(普)No.3231980一般社団法人日本ゴム協会関東支部)で開催日までにお  
 振込願います(振込手数料は受講者側でご負担ください)。請求書が必要な場合は申込書にご記入ください。  
 申込先 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル 一般社団法人日本ゴム協会関東支部 秋期ゴム技術講習会係  
 TEL.03-3401-2957 FAX.03-3401-4143 E-mail:srij.kanto@srij.or.jp

日 時	演 題	講 師
11月1日(水) 10:30～11:40	「カーボンナノチューブ複合材料の特長と用途」 産業技術総合研究所 ナノチューブ実用化研究センター 主任研究員 阿多 誠介氏 カーボンナノチューブの複合材料の特長および最近の用途追加について紹介をします。	
12:40～13:50	「ロックイン発熱解析を用いた導電性ナノファイバーの可視化」 産業技術総合研究所 ナノチューブ実用化研究センター 主任研究員 森本 崇宏氏 従来は困難だった、導電性ナノファイバーの可視化技術としての、ジュール熱を介した発熱解析法を中心に紹介する。	
14:05～15:15	「サステナブル材料としてのポリイソプレングム」 (株)ブリヂストン 中央研究所 フェロー(本部長) 会田昭二郎氏 天然ゴム代替を目指したポリイソプレングム(IR)に関して、その合成技術や効果、取り組み意義などを紹介します。	
12:40～13:50	「CNF、CNTなどナノファイバーによるゴムの補強」 信州大学 カーボン科学研究所 特任教授 野口 徹氏 細くて長い繊維状物質による補強と、カーボンブラックなどのナノ粒子補強の違いを概説する。	
11月2日(木) 10:00～11:10	「布とウレタンボディの電気自動車の開発経緯」 (株)rimOnO 代表取締役社長 伊藤 慎介氏 防水性の布で覆われており、ボディを触るとやわらかい電気自動車であるrimOnO(リモノ)。なぜこのような新しい 乗り物を開発したのかについて解説する。	
11:25～12:35	「ゴム配合分析の手順と最近の手法」 (一財)化学物質評価研究機構 高分子技術部技術第二課 副長 三輪 怜史氏 ゴム材料中の成分の把握がどこまで可能なのか、分析手順を最近の手法を交えて紹介する。	
13:35～14:45	「生物微細構造に学ぶゴム表面の機能化」 千歳科学技術大学 理工学部応用化学生物学科 専任講師 平井 悠司氏 生物が微細構造によって発現させている機能の例とゴム表面の微細加工による超撥水性について紹介する。	
15:00～16:10	「ゴム、樹脂のブレンド構造制御技術」 東京工業大学 物質理工学院材料系 教授 扇澤 敏明氏 熱可塑性エラストマーや高耐衝撃プラスチック等を作製するために必要なブレンドの構造制御技術について述べる。	

※プログラムは変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

キリトリ

関東支部・第58回秋期ゴム技術講習会申込書

(E-mail, FAX通信可)

☆インターネットからお申込みができます。

<http://www.srij.or.jp>

申 込 者	(会社名) _____ (担当者) _____ (所属) _____
	(住 所) 〒 _____ TEL. ( ) _____ FAX. ( ) _____ E-mail: _____
受 講 者	(氏 名) _____ 所属部課 _____ ・賛助会員 ・会 員 役職名 _____ ・学生会員 ・会員外 _____ ・協賛団体

上記のとおり、.....月.....日、受講者.....名、計.....円を銀行振込にて送金予定。 請求書 要